

2 / 1 校長室より 193

2月の異名として最も一般的な「如月（きさらぎ）」。
その名の由来は、まだまだ寒さが厳しい時期ために
更に衣を重ね着するという意味から
「衣更着（きさらぎ）」になった、という説が
有力とされているようです。

なぜ「如月」の漢字が使われているかというと、
中国の2月の異名「如月（にょげつ）」が
由来になっているとのこと。

如月（にょげつ）には、寒い冬が終わり、春に向か
って万物が動き始める時期という意味があります。

同じ漢字を使ってはいるものの、
「きさらぎ」と「にょげつ」で表している意味は
少し違っているということになりますね。

厳しい冬と小さな春が共存するこの2月、
心身ともに健康に過ごしたいと思います。

今朝は、この冬一番の冷え込みでした。
通学、通勤の際は、
路面の凍結に十分注意したいものです。



私立高校の入試で
空席が目立つ3年生の教室